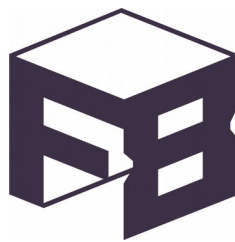


VR-Cloud® リリース 6.0 (2015 年 1 月)

VR-Cloud® クライアントヘルプ



VR-Cloud®



FORUM 8

1. VR-Cloud®クライアントの起動

VR-Cloud® クライアント は、インストール時に指定したスタートメニュー内のプログラムグループから起動できます(通常は スタート > すべてのプログラム > FORUM 8 > VR-Cloud® 5.1 > VR-Cloud® Client です)。

アプリケーションが起動しますと、まず初めに、フォーラムエイトの提供しているコンテンツリスト、設定してあれば御自分で設定したコンテンツリストの新着コンテンツが表示されます。コンテンツリストの設定に関しましては5章をご覧ください。



新着コンテンツ

アプリケーション起動時に選択されているボタンです。これを選択すると、右側のリスト表示部分に、現在のコンテンツリストに含まれる新着コンテンツの一覧が表示されます。

全てのコンテンツ

これを選択すると、右側のリスト表示部分に、現在のコンテンツリストに含まれる全てのコンテンツの一覧が表示されます。

お気に入り

VR-Cloud® サーバに接続すると、御自分のお気に入りリストにそのサーバを登録できます。このボタンを選択すると、右側のリスト表示部分に、お気に入りリストに登録した全てのプロジェクトが表示されます。

履歴

VR-Cloud® サーバに接続すると、自動的に履歴リストにそのサーバが登録されます。このボタンを選択すると、右側のリスト表示部分に、今まで接続したことのある全てのプロジェクトが表示されます。

URL 入力

このボタンを選択すると、サーバに接続するための URL を入力することができます。その URL はコンテンツリストに含まれていないものでも構いません。また、コンテンツリストの URL を入力することで、現在のコンテンツリストを変更することもできます。

設定

このボタンを選択すると、インターフェースの表示言語設定などといった、アプリケーション設定の変更ができます。

2. コンテンツリスト

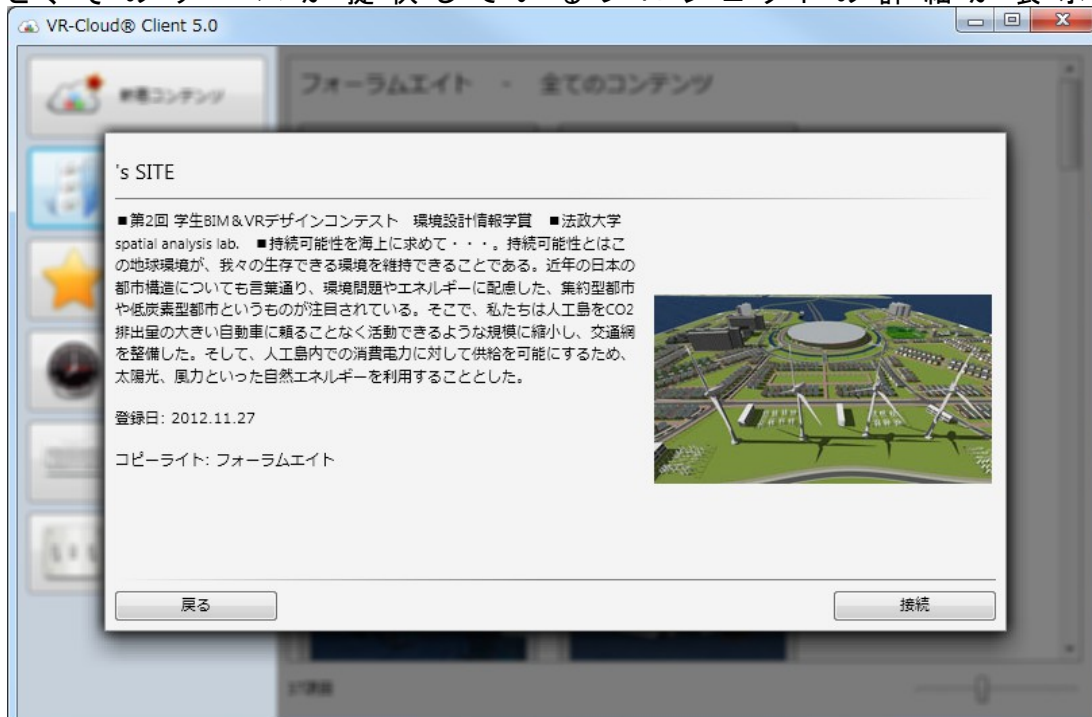
新着・全てのコンテンツ及びお気に入り・履歴は、アクセス可能なサーバを表示するためにコンテンツリストを使います。VR-Cloud®クライアントは3つのリストを使用します。

- 現在のコンテンツリスト(新着及び全てのコンテンツ)
- お気に入り
- 履歴

現在のコンテンツリストはインターネット上からダウンロードしますが、お気に入りと履歴はローカルマシン上に保存されます。したがって、お気に入りと履歴は御自分で編集することが可能です。アイテム一つ一つを削除するには表示されているアイテムを右クリック、リストの中身を全て削除したい場合はリストの下にあるリンクから行ってください。

3. サーバへの接続

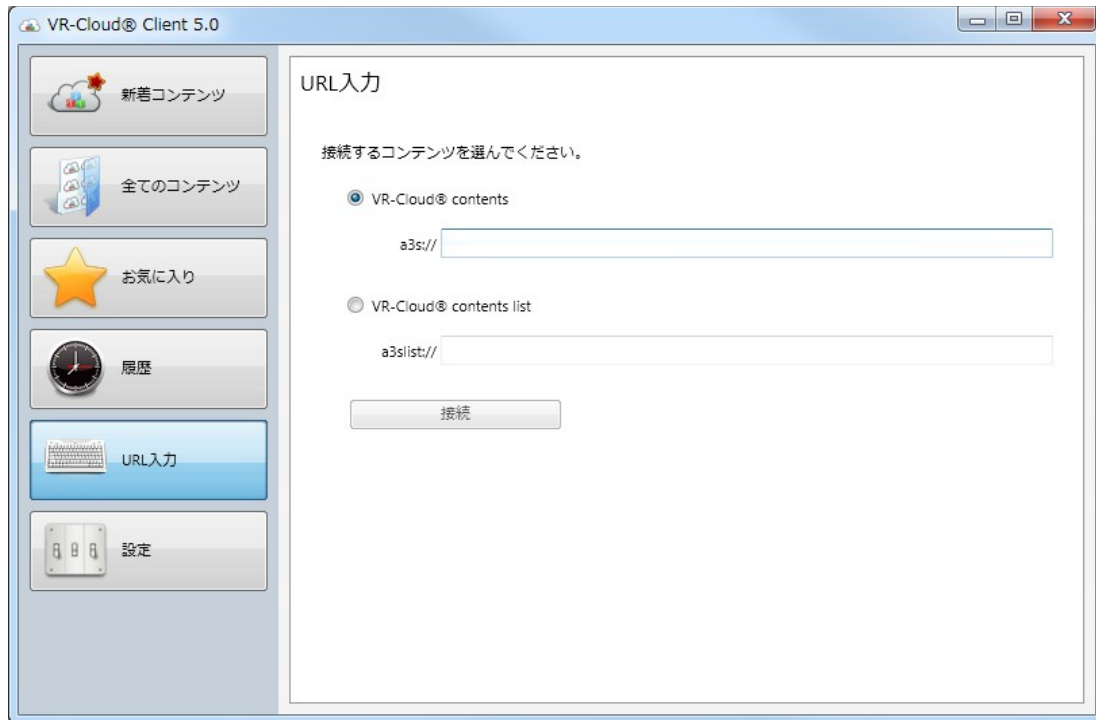
コンテンツリストにあるサーバに接続するのは簡単で、まずはそのアイテムをクリックします。すると、そのサーバが提供しているプロジェクトの詳細が表示されます。



サーバに接続するには、ここで[接続]ボタンをクリックするだけです。別のサーバを選択したい場合は、[戻る]をクリックしてください。

4. URL 入力

任意のサーバに接続したい場合、または任意のコンテンツリストを表示したい場合のために、サーバまたはコンテンツリストの URL を手動で入力することができます。

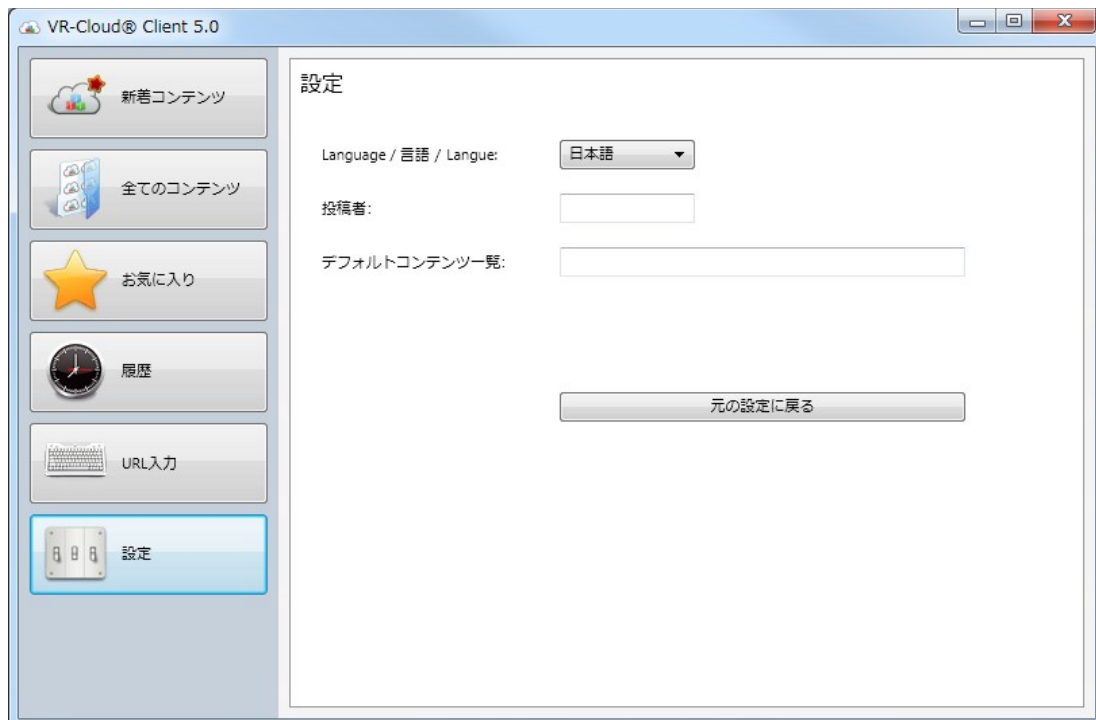


VR-Cloud® contents は、VR-Cloud® サーバの URL を入力するための入力欄です。一度接続したサーバは履歴に登録されますし、お気に入りに登録することも可能なため、毎回 URL を入力する必要はありません。

VR-Cloud® contents list は、VR-Cloud® コンテンツリストの URL を入力するための入力欄です。ダウンロードして読み込んだ後、現在のコンテンツリストとして扱われますので、含まれているコンテンツは [新着コンテンツ]か[全てのコンテンツ]で見ることができます。

5. 設定

設定画面では、様々なアプリケーション設定を行うことができます。



言語リストの中から、インターフェースで使われる言語を選ぶことができます。英語、日本語及びフランス語をサポートしています。

また、アプリケーション起動時に読み込むデフォルトコンテンツリストを変更することもできます。起動時にダウンロードされた後、読み込まれて新着コンテンツおよび全てのコンテンツとして表示されます。

6. 接続後の操作

バージョン 5.1 より、VR-Cloud® クライアントアプリケーションはサーバからユーザインタフェースをダウンロードする形になりました。ですので、コンテンツプロバイダのニーズに合う形にユーザインタフェースをカスタマイズすることが可能になりました。これにより、システムとして非常に高い柔軟性を持つことになりましたが、サーバごとに違うユーザインタフェースとなりますのでこのマニュアルで全て説明することはできません。

しかしながら、VR-Cloud® クライアントアプリケーションは大半の各サーバがユーザインタフェースに含められる基本アクションを複数用意しておりますので、ここではそれらを説明いたします。

所定の位置に移動

このアクションでは、プロジェクト内における興味深い視点の位置を予め保存しておくことで、その視点をもう一度確認したいときなどに、その場所に素早く視点を移動させることができます。

道路の走行

このアクションでは、ユーザは道路の上を滑走することができます。

運転走行

このアクションでは、ユーザは道路上もしくはオフロードでの運転走行ができます。

飛行

このアクションでは、ユーザは予め定義されたフライトパス上を飛行することができます。

歩行

このアクションでは、ユーザの移動モードを歩行モードに設定します。歩行中は壁やその他の障害物を通り抜けられなくなります。

アニメーションの再生

ユーザが登録されているアニメーションを任意に再生出来ます。これは、プロジェクトのプレゼンテーションにとっても役立ちます。

シナリオの実行

シナリオはユーザのアクションに依る様々な結果をシミュレートすることができます。

コンテキストの選択

コンテキストとは気候の種類や時間帯などの様々なシミュレーション設定をまとめて予め定義したプリセットです。ユーザは登録されているコンテキストの中から現在のコンテキストを自由に選ぶことができます。

景観の変更

表示するモデルのセットを予め登録して切り替えられるようにしておくことで、ユーザがプロジェクトを見直すときに非常に便利になります。このアクションにより、ユーザは簡単に表示モデルセットを切り替えられるようになっております。

交通流と環境

交通流と環境はコンテキストを通じても設定できますが、これらは非常に幅広く使われるオプションですので、直接個別に ON/OFF を設定できるようになっております。

編集

ユーザが3D画面上のモデルを選択及び編集できる機能です。この機能では新しいモデルのアップロードや、編集した3Dプロジェクトの保存もあわせて行うことができます。

繰り返しになりますが、各サーバが異なるユーザインタフェースをクライアントに送信できるため、ただ今挙げた機能のいくつかがおミットされたユーザインタフェースをクライアントに送信するサーバが存在する可能性があります。